

外観



1984年に開校した近江八幡市立桐原東小学校。近江八幡市では教育の場の環境改善を図るために、市内の小中学校のトイレ改修を実施しており、桐原東小学校は小学校トイレ改修の第1号となった。

トイレ模型



1/50と原寸の模型を作成し、子どもたちの意見や要望を具体的に確認しトイレプランに反映した。

B棟1F 1年生トイレ



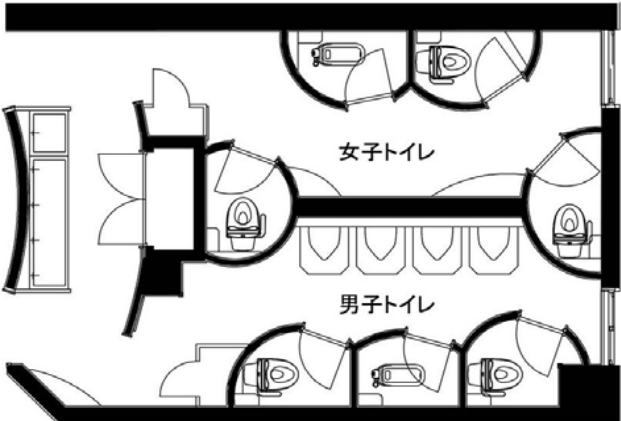
男子トイレの大便器ブースは寒色系の色を採用。男女トイレとも、洋式便器には、2度流しを防止する音姫（擬音装置）機能を搭載したウォッシュレットを設置している。

B棟1F 1年生トイレ



トイレ入口近くに設けられたゴミ箱（写真左）。また荷物配慮として通路の壁にフックを設置し、大便器ブースには棚付きのチャームボックスを設置している。

B棟1F 1年生トイレ 図面

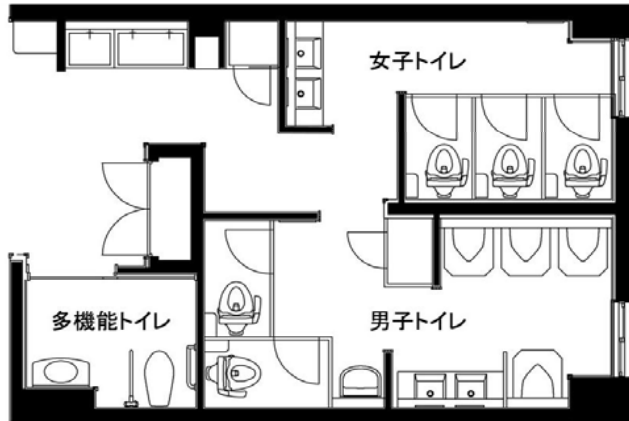


B棟1F 1年生トイレ



1年生のトイレのテーマは「カラフル」。トイレ入口には、鯨が描かれたモザイクアートが飾られている。7色に塗り分けられた鯨は、トイレ内の大便器ブースと同じ色分けとなっている。

C棟1F 2年生トイレ 図面



C棟1F 2年生トイレ



2年生のトイレのテーマは「ジャングル」。入口に飾られたモザイクアートやトイレサインには、動物の絵が描かれている。

B棟1F 1年生トイレ



円柱形の大便器ブースのカラフルな色調が印象的なトイレ空間。カラフルというテーマのもと、子供たち一人ひとりが持つ個性を表現するように、ブースの色もすべて変えている。

B棟1F 1年生トイレ



女子トイレの大便器ブースは暖色系の色を採用。1Fは公共性が高いことから、男女トイレに各1ヶ所和式便器を設置。ほかのフロアの大便器はすべて洋式便器を採用している。

C棟1F 2年生トイレ



腰壁は「木」、壁は「茂った緑」、奥の掃除用具入れは「バナナ」をイメージしたカラーリング。トイレの入口近くには、ベンチと男女共用の手洗いコーナーを設置している。

C棟1F 2年生トイレ



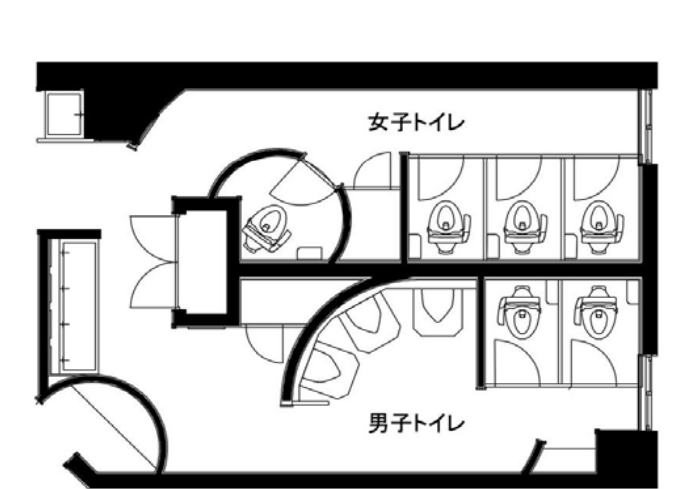
女子トイレの大便器ブースの壁は、南国の花をイメージした鮮やかなピンク色。大便器ブースには荷物配慮として棚を設置している。

C棟1F 2年生トイレ



小便器コーナーの壁タイルは滝をイメージしている。男女トイレの手洗いコーナーには、衛生面と環境に配慮して、ノンタッチで水の出し止めができる自動水栓を設置。

B棟2F 3年生トイレ 図面



C棟1F 2年生 多機能トイレ



2年生のトイレには、車いす使用者に配慮した多機能トイレを設置。ここでは、岩場をイメージしてグレー系の色を使用。

B棟2F 3年生トイレ



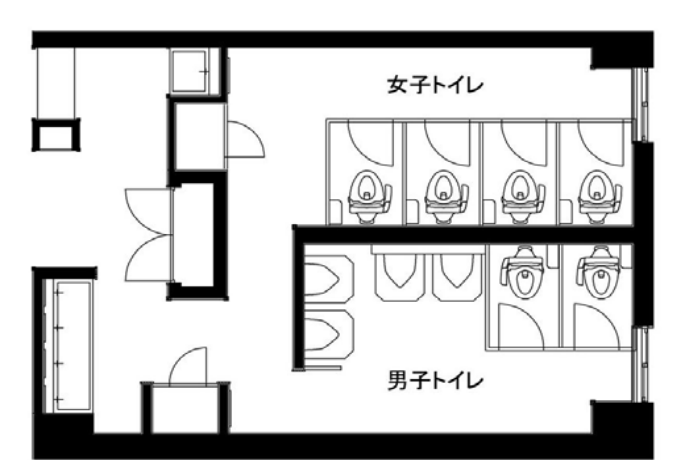
3年生のトイレのテーマは「円」。天井や壁の随所に曲線が用いられ、モザイクアートやトイレサインは、「宇宙」をテーマにした絵が描かれている。入口近くには集いの場として「DEN(隠れ家)」が設けられている。

B棟2F 3年生トイレ



小便器は隣の人の視線が気にならないように、扇型に配置している。小便器の足元には尿の飛散によるにおいや、汚れを軽減するハイドロセラ・フロアを設置。

C棟2F 4年生トイレ 図面



C棟2F 4年生トイレ



入口近くに男女共用の手洗いコーナーとベンチを設置。ベンチは荷物置きや友達とのコミュニケーションの場にもなっている。

C棟2F 4年生トイレ



女子トイレは、イエローとピンクを基調とした空間。

C棟2F 4年生トイレ



4年生トイレのテーマは「共存」。トイレ入口のモザイクアートには、地球上の様々な生き物が描かれている。

C棟2F 4年生トイレ



男子トイレはブルーとグリーンを基調とした空間。小便器コーナーの壁の色を明るいブルーにすることで、光が反射しより明るく感じられるようにしている。

C棟2F 4年生トイレ



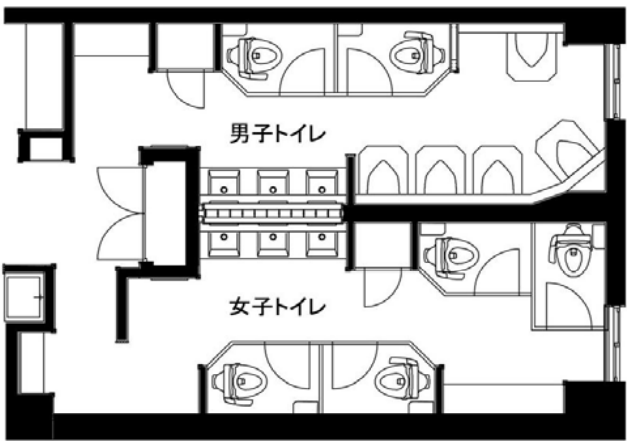
入口近くに身だしなみをチェックするための全身鏡を設置。子どもたちの要望はここにも生かされている。

B棟2F 3年生トイレ



男女共用の手洗いコーナーは、上部空間をオープンにし、閉塞感を感じさせないようにしている。トイレ入口近くには掃除用のシンクを設置。

C棟3F 5年生トイレ 図面



C棟3F 5年生トイレ



5年生トイレのテーマは「光」。入口のモザイクアートは「万華鏡」をイメージしている。

B棟3F 6年生トイレ



大人の仲間入りというテーマを、商業施設のトイレをイメージした空間で表現した洗面コーナー。水栓金具は、子どもたちの要望を反映し、自動水栓を設置している。

B棟3F 6年生トイレ



大便器ブースの間仕切壁と扉に木目調パネルを使用した落ち着いた空間。小便器コーナーは腰壁にモザイクタイルを張り、カジュアルさも感じさせる空間となっている。

C棟3F 5年生トイレ



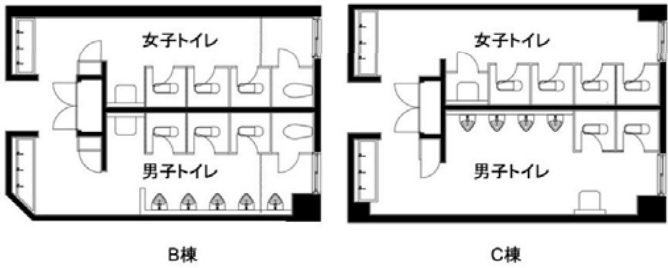
窓からの採光を生かし、トイレ空間全体を明るくするように、小便器や大便器ブースの配置を工夫。洗面コーナー上部にガラスブロックを用いることで、女子トイレにも光が届くようにしている。

C棟3F 5年生トイレ



子どもたちの要望を反映し、大便器ブースを4ヶ所設置。大便器ブースの角を斜めにカットすることで、通路幅を広く確保している。

改修前トイレ 図面

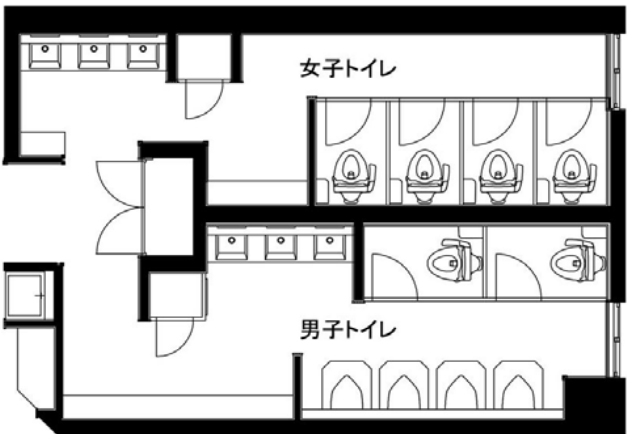


改修前トイレ



改修前のトイレは「暗い・汚い・怖い」という環境で、トイレに行くことを嫌がる子どもたちが多かった。

B棟3F 6年生トイレ 図面



B棟3F 6年生トイレ



6年生のトイレのテーマは「おとなの仲間入り」。トイレ入口のモザイクアートは、近江八幡市ゆかりの建築家ウィリアム・メレル・ヴォーリズの自邸（現「ヴォーリズ記念館」）が描かれている。

建築概要

名 称	近江八幡市立桐原東小学校
所 在 地	近江八幡市土田町175
施 主	近江八幡市教育委員会
設 計	後藤平建築事務所
施 工	株式会社マルヤマ
工 事 期 間	2014年6月～10月
竣 工 年 月	（改修）2014年10月

水まわりの特長

<改修の経緯>
近江八幡市では教育の場の環境改善を図るために、市内の小中学校のトイレ改修を計画的に実施している。築30年が経過した桐原東小学校は、老朽化が進んでいたことから、小学校のトイレ改修の第1号となった。

<トイレの特長>
トイレの改修プランを計画するに当たり、子どもたちの想いや考えを把握するため、大学生と子どもたちによるワークショップを開催し、子どもたちがイメージするトイレを絵に描いてもらったり、原寸模型によるトイレ体験を実施。子どもらしい自由な発想の意見や要望などを生かしたトイレプランを作成した。1年生から6年生まで各学年ごとに独自のテーマを設定。それぞれのトイレ入口の壁面には、全児童が参加して作成したモザイクタイルの絵が飾られるなど、子供たちの夢が詰まったユニークなトイレを実現している。

<学校関係者の声>
トイレが新しく楽しい空間になったことで、今までトイレに行くことを嫌がる子どもたちも楽しんで行くようになりました。また、学年が上がるたびにデザインが異なるトイレを使えることも楽しみの一つになっているようです。